

## 飼料作物奨励品種の改訂

畜産試験場 飼料作物グループ 専門研究員 元永 利正

輸入飼料が原因と思われる口蹄疫やBSEなどの発生により、畜産物の安全性に対する消費者の関心が高まっています。一方、平成11年には「家畜排せつ物法」が制定され、家畜排せつ物の適正な管理と資源としての有効活用を推進することが必要とされています。畜産物の安全性を確保し、家畜排せつ物を有効利用するためには、外国からの輸入飼料に依存している現在の生産構造から、国内での自給飼料に立脚した資源循環型の生産構造へ転換して行くことが必要です。

平成14年12月に発表された「米政策改革大綱」は、水田の機能を維持したまま、米の生産調整と飼料の自給率向上を図ることを目標としており、特に稲発酵粗飼料(飼料イネ)は今後重要な役割を担うと思われま

す。山口県では、栽培条件や利用条件に適した飼料作物の草種・品種について、昭和44年から「山口県飼料作物奨励品種」を制定し、普及活動を推進しています。今回、種子の流通状況に的確に対応するため、3年ぶりに奨励品種の見直しを行いました。

今回の改訂にあたっては

1. 今後引き続き利用が見込まれるもの及び新品種や後継品種等により新たに利用が見込まれるもので、安定的に種子が確保できるもの

2. 「食料・農業・農村基本法」において、食料自給率向上のために自給飼料の増産が必要とされているが、それを図る上で最も重要である収量性・機械利用性・耐病性等が優れているもの

3. 米政策改革大綱に即して、水田機能を維持し、それを活用した飼料作物生産を推進す

るため、水田への適応性が高いものを重視し選択しました。

主な改正点としては、イタリアンライグラスの「ミナミアオバ」を廃止し、新しくいもち病抵抗性をもつ「さちあおば」を追加、草種として新たに「稲発酵粗飼料用イネ」を追加し、品種としては「クサノホシ」、「ホシアオバ」を追加しました。

また、本改正に併せて、飼料作物奨励品種の特性を分かりやすく簡単に解説した「飼料作物栽培カレンダー」を作成しました。奨励品種の栽培や現地での普及活動等に利用して下さい。

これら奨励品種が山口県に定着し、自給飼料増産に大きく貢献することを期待します。

草種名	品 種 名
イタリアンライグラス	「年内利用型」 シワスアオバ 「極短期利用型」 さちあおば 「短期利用型」 ワセユタカ、タチマサリ 「長期利用型」 ヒタチヒカリ 「極長期利用型」 アキアオバ
トウモロコシ	「早生品種」 パイオニアデントセシリア サイレージコーンNS68A ゆめちから ゆめそだち 「中生品種」 ゆめつよし スノーデント127S(SH0800) 「二期作品種」 スノーデント王夏(SH9904)
ソルガム類	「スーダングラス」 スーダングラス乾草(HS8S) ドライスーダン(TR92) ヘイスーダン(HSK-1) ベールスーダン(HS9401) ドライスーダン (PC3079) クミアイソルガム2号(kow kandy) 「スーダン型」 改良多収ソルゴ(HGR- ) BMRスイート 「ソルゴ型」 ゴールドソルゴ(FS-5) 甘味ソルゴ(SG-1A) 秋立 天高 風立 「兼用型」 ナツイブキ 葉月
稲発酵粗飼料用イネ	ホシアオバ、クサノホシ
ローズグラス	アサツユ、カタンボラ
ギニアグラス カラードギニアグラス	ナツコマキ、ナツカゼ、タミドリ
エンバク	はえいぶぎ、極早生スプリンター、ウエスト スーパーハヤテ「隼」、たちいぶぎ、前進
オオムギ	ワセドリ、のぞみ2条
ライムギ	春一番
栽培ヒエ	青葉ミレット、グリーンミレット晩生
ペレニアルライグラス	フレンド
ハイブリッドライグラス	ハイフローラ
オーチャードグラス	アキミドリ、マキバミドリ
トールフェスク	ナンリョウ、サザンクロス、ホクリョウ
リードカナリーグラス	パラトン、ベンチャー
アカクローバ	ケンランド
シロクローバ	フィア、マキバシロ
シバ	朝駆、みやこ
アルファルファ	ツユワカバ、タチワカバ
バヒアグラス	ナンゴク、ナンオウ

注)トウモロコシ、ソルガム類は( )に系統名を示した。